

港南地区



第5回高輪交通安全フェア

品川クラシックカーレビュー in 港南



5月13日朝、品川駅港南口前広場に各地からオーナーご自慢のクラシックカーが集結しました。春の交通安全運動の一環として恒例のクラシックカーレビューが行われる日です。

この日のイベントは、港南小学校鼓笛隊の元気な演奏で幕を開けました。高輪警察署長、港区長などの挨拶の後、今日のために一日署長に選ばれたNHK朝の連続小説でお馴染みの雛形あきこさんが交通安全を訴える挨拶をされ大きな拍手を受けました。一日副署長を務める歌手のmicaさんの熱唱がこれに続きます。セレモニーが無事終わると、オーナーが笑顔で運転するクラシックカーのパレード。高輪警察署長、港区長や港南小の子どもたちがオーナーご自慢の車に分乗して、駅の周辺を一巡しました。



港南小学校鼓笛隊



高輪警察署長挨拶



パレードの様子

会長さんにうかがいました ～第2回～

港南4丁目第2アパートは港南地区の古い都営住宅を再開発して建てられた高層アパートです。自治会長の佐々木敏基さんに抱負や将来への思いを語っていただきました。



佐々木敏基 会長

●「ちいばす」の運行を実現したい
このアパートがある地区はもともと倉庫や工場が中心で発展した場所で、そこに公営住宅が出来、近年は民間マンションが建つようになりました。しかし、住宅建設に交通網が追いついていません。何とか交通の便を向上させようと「ちいばす」をこの地区に運行する運動を進めています。

●高齢者と若い世代の融合を図る
全部で346世帯が入るこのアパートもご他聞にもれず高齢化が進んでいます。いろんなイベントを通じて、高齢者と若い世代の融合を図ることを心がけています。最近ではマージャン大会が好評でした。

●地区の発展への期待
地区が発展するという事は住人にとって住みやすく、生活環境が改善することではないでしょうか。高浜運河沿いに作られた遊歩道が連続化していくのは嬉しいことです。今年是新港南橋の東側が完成し次は西側が出来るとのことで、将来運河全体が遊歩道でつながるといふ計画が一日も早く現実のものになって欲しいです。

キャノンギャラリー紹介



JR品川駅港南口を出てすぐ右、グランド commons のビル群の奥にあるキャノンSタワー。ビルの中に、2つのギャラリーがあり、常に写真展が開催されています。

今後の展示予定
・2階 オープンギャラリー
6/29(金)～7/19(木) 村田泰隆写真展「蝶を追って」
・1階 キャノンギャラリーS
7/2(月)まで 内藤忠行写真展「アフリカン・バイブレーション」
(いずれも10:00～17:30、日曜・祝日は休館)
散歩のついでに立ち寄ってご覧ください。疲れたらビル内のカフェで一休みも出来ます。

祭 真夏の地元密着イベント 「港南の夏祭り」へ行こう!

[品川駅港南夏祭り]	7月20日(金)21日(土) 午後5時から9時まで	会場:品川駅港南口港南ふれあい広場
[港南4丁目第2アパート夏祭り]	7月28日(土) 午後5時から7時まで	会場:港南4丁目第2アパート3階公園
[港南4丁目第3アパート夏祭り]	7月28日(土) 正午から午後9時まで	会場:港南和楽公園
[都営港南4丁目自治会納涼大会]	8月25日(土) 午後6時から9時30分まで	会場:港南公園遊歩道
[港南3丁目合同祭り]	9月8日(土) 午後4時から9時まで	会場:港南3丁目遊び場

台場地区



ビーチライフ in お台場



ゴールデンウィーク最終日の5月6日、お台場海浜公園の砂浜で第2回ビーチライフ in お台場がJBVのビーチバレーツアー第2戦とともに開催されました。当日は朝から不安定な天候でしたが、参加者達の笑顔は絶えませんでした。今年から、地元から多くの有志がスタッフとして参加しています。JBVツアー公式戦のほうでは人気の選手も登場するとあって例年以上の活気です。このイベントは 新たな海辺空間のあり方を研究し、ビーチスポーツの特性を活かしながら地域の活性化や環境教育、また生涯教育の礎となることを目指し啓発活動をされている日本ビーチ文化振興協会が中心になって運営されています。



熱戦が繰り広げられた、ビーチ相撲大会



ビーチサン飛ばしはなんと世界選手権



ビーチヨガ



海辺の工作教室



ビーチサッカー



ビーチ相撲



カヌー教室

ドラゴンボート大会

5月20日は「東京みなと祭」のイベントとしてお台場では恒例のドラゴンボート大会が行われました。この大会は第8回アジア選手権ペナン大会第一次代表選考会でもあります。楽しむのは勿論ですが、そこには闘志をあらわにしているチームも少なくありません。



ドラゴンボートは20名の漕ぎ手、1名の舵取り、それと1名の太鼓手の22名が乗り組み主に200mから500mの距離を競い合います。(12kmを競う大会もあります。) 今年も晴天。海は赤潮でしたが、青空が気持ち良かったです。



毎年参加の地元チーム。アロハお台場、マハロお台場のみなさん。



日本ドラゴンボート協会の常務理事、谷 事務局長さん(左)と副理事長の大野さん(右)。

よさこい教室

5月26日、初心者のためのよさこい教室が開催されました。小学生から高齢の方まで幅広い年齢層の方が集まり、楽しくよさこいを学びました。この「よさこい教室」をスタートに、よさこいチームを結成して、お台場夏まつりで練習の成果を皆さんにお披露目する予定です。お台場「よさこい」に参加を希望する方は、台場高齢者在宅サービスセンター・担当 中野(電話5531-0520)へご連絡ください。



祭 真夏の地元密着イベント「お台場の夏祭り」へ行こう!

[お台場夏祭り2007]
8月25日(土) 午前11時30分～午後8時まで 会場:お台場レインボー公園

港区ベイエリアの 高校・大学だよ!

専門分野を研究し未来へはばたく、
たのしいみなさんをご紹介します。



東京工業大学附属科学技術高等学校

芝浦3-3-6 ☎3453-2251

「科学的に考え、技術的に取り組む」

本校は、国立大学附属高校・中等教育学校後期課程の中で唯一の「科学技術高等学校」です。歴史は古く明治19年(1886年)創立です。高校から大学へ接続する新たな科学技術教育を目指し、平成17年4月1日に「東京工業大学工学部附属工業高等学校」から「東京工業大学附属科学技術高等学校」に生まれ変わりました。科学・技術を志向する全人的教育を実現し、能力のある生徒を更に伸ばす教育を行っています。平成14年度から平成16年度までの3年間、文部科学省から科学技術、理科、数学教育を重点的に行うスーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定されましたが、更に平成17年度から平成21年度までの5年間再度SSHに指定されました。平成14年度からの3年間は、「わかる」(理解)、「つくる」(実験、実習)、「えがく」(センス、創造性)をキーワードにSSHの研究開発を行いました。平成17年度からのSSHの研究開発では、「いどむ」(未知への挑戦)と「わかりあう」(国内外とのコミュニケーション)をキーワードに加えました。これらを通して、科学的に考え、技術的に取り組む、将来の国際的な科学技術系人材を育成することを目指しています。



SSH研究開発で実施している「数学さきがけ」の授業風景



「地雷探査ロボット」に関する授業風景...東京工業大学の留学生さんが英語で(!)教えてくださるそうです。

国立大学法人 東京海洋大学

港南4-5-7 ☎5463-0400

「伝統、そして未来へ」

本学は、それぞれ長い伝統を持つ「東京商船大学」と「東京水産大学」とを統合して設置された大学です。両大学はいずれも120年以上にわたって、日本の政財界・学会に多くの有能な人材を輩出しており、内村鑑三や寺田寅彦をはじめ、海藻学の開拓者である岡村金太郎、魚類学の発展に大きく貢献した松原喜代松などが教鞭を取ったり、論文を発表しました。また、政界では高橋達之助 元通産大臣や鈴木善幸 元総理大臣など、歴史に残る多くの偉人を輩出してきました。こうした輝かしい伝統を受け継ぎながら、2003年10月に両大学は東京海洋大学として生まれ変わり、「競争的環境下での個性輝く大学」を目指して、世界の環境保全・修復や海洋生物の遺伝子工学、絶滅危惧動物の回復に道を開く借り腹技術、食の安全・安心を保障する加工・保存技術、海洋ブロードバンド通信システムの開発による海上ユビキタス環境の提供や高速最適化エンジンの開発等による高度ロジスティクス・システムの提案、船舶用超電導モータ・海洋ロボットの開発など、世界をリードする大学として、教育・研究・社会貢献を推し進めながらも、絶えず変革に取り組んでいます。



品川キャンパス内にある「鯨ギャラリー」には世界最大級のセミクジラの骨格標本が!



品川キャンパス構内の風景

港区ベイエリアのサークル紹介

芝浦、海岸、港南地区

アトリエ・フューチャー

アトリエ・フューチャーは、3歳から小学生までを対象とした子どもの絵画・造形教室です。現在、会員は20名ほどで、15年続いている教室です。毎週木曜日、午後3時から7時まで、芝浦港南区民センターで活動しています。「画用紙、粘土、タイル、針金など、いろいろな素材を用意し、子どもたちの自由な発想の手助けが出来ればと、心掛けています。そして、絵画や造形を通して感性豊かな人間に育ってもらえればと願っています。」子どもたちの作品は、毎年11月、第2土曜日・日曜日に区民センターで開催される「芝浦港南ふれあいまつり」に展示しておりますので、ぜひご覧ください。



芝浦、海岸、港南地区

港南バレエ教室

港南バレエ教室は、幼稚園の子どもから大人までを対象とした10年以上も続いているクラシックバレエの教室です。毎週1回、木曜日の午後5時半から9時ごろまで、芝浦港南区民センターを中心に、子どものクラスと大人のクラスの2つに分けて活動しています。今は、7月7日に大田区民プラザで開催する年1回の発表会に向けて、毎回猛練習をしているところです。現在のメンバーは、25名ほどで、すべて女性です。小・中学生からでもバレエを始めるのに遅いということはありません。初心者の方も基礎から指導しますので、バレエに興味のある方は、ぜひお越しください。男性の参加も歓迎します。



台場地区

お台場レインボーズ

お台場レインボーズは、お台場の港陽小学校の4,5,6年生を中心にしたミニバスケットボールチームです。港陽小学校体育館で週3回活動しています。昨年2月(17年度)に行われた区の大会では各リーグ全てに優勝。3つのカップを獲得という輝かしい戦績を残しました。また次の大会へ向けてコーチやOBとともに練習に力が入ります。子供達はルールや戦術だけでなく、規律やチームワークもしっかり学んでいるようです。



練習後のレインボーズ名物「そうきん掛け」



掲載希望サークル募集!

編集部では、港区ベイエリア内に在住、在勤の方が主催しているサークルを募集します。サークルの名称、活動内容、代表者の住所・氏名・連絡先、主な活動場所を明記の上、メール、ファックスまたは郵便でご応募ください。

※営利目的や宗教活動および政治活動を目的とした団体の応募は、ご遠慮ください。
※誌面の都合上、掲載できない場合もございますのでご了承ください。
※必要に応じて、編集部で取材をさせていただく場合がございます。

問い合わせ・応募先

〒108-8547 ※郵便番号だけで届きます
芝浦港南地区総合支所べいあつぷ編集部
電話：6400-0011 FAX：5445-4590
Eメール：sk-kuminnokoe@city.minato.tokyo.jp

べいあっぷ環境レポート

～ベイエリアのさまざまな取り組み～

港区ベイエリアの貴重な自然である運河と海。一時は悪化していたその環境も、最近はずいぶん回復し、そこに生きる生き物たちも増えています。身近にある貴重な自然をもっときれいに、もっと楽しめるように。まずは「今」を知り、「何か」を始めてみませんか。

運河について

新芝運河の清掃ボランティア

新芝運河のごみ拾いが市民ボランティアにより、火曜日と雨の日を除き、毎日行われています！新芝運河の藻塩橋から芝浦橋までの辺りは、水の流が停滞するところで、そこにごみが集まってしまうと、人力でごみを拾うしかありません。運河に投げ捨てられるごみは、タバコの吸殻や空き缶・ペットボトルが多いとのこと。

また、この付近では、水辺の生き物たちの姿もあまり見ることができません。

運河には、ごみを捨てないようにして、きれいな運河を守っていきましょう！



今日の収穫は、多いときの1/10でした。

運河の水質、生き物の現状は？

芝浦運河の調査が市民と国総研（国土交通省国土技術政策総合研究所）との協働で、昨年に実施され、運河の水質や潮の流れが分かってきました。

運河の水質は、海水層の上に淡水層が乗っている2層構造になっているそうです。これは、芝浦水再生センターから流れ出る大量の高度処理された淡水によるもので、このエリアは海水と淡水が交じり合う、いわば人工的な汽水域ということになります。

新芝運河と芝浦運河の北部の水は、日の出水門へ排水されており、高浜運河と芝浦運河の南部の水は、高浜水門へ排水されているとのこと。この二つの流れのエリアは、絶好の釣り場となっており、4月～10月はスズキ、8～9月はハゼがよく釣れるそうです。

このほかにも、運河には手長エビ、アナゴ、ウナギ、ボラなどの水生生物や、カルガモ、シラサギ、カワウ、ユリカモメなどの鳥類も生息しています。

夏休みには、親子で運河の生き物たちを観察してみたいかたがでしょうか。



カルガモの親子（新港南橋下）



スズキ

芝浦アイランド『海の生き物』のすみかづくり

芝浦アイランドの護岸には生き物が生息しやすい構造が取り入れられています。護岸に魚のすみかの潮溜まりや、カニやゴカイのすみかが設けられています。

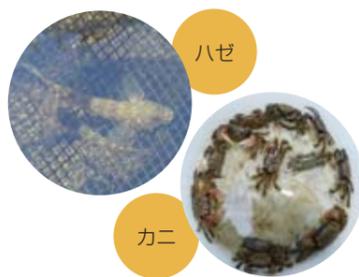
※5月20日 芝浦運河ごこ市場の日に見学会がありました。



みんなの力で生き物のすみかをもっと良くしよう！



どんな生き物がいるの？



ハゼ

カニ

お台場の海 について

お台場海浜公園における海域浄化実験の取り組み

お台場は、年間約200万人近くが訪れる憩いの水辺ですが、誰もが安心して水と触れ合う空間とするためには、より一層の水質の改善が必要と考えられます。東京都では、平成15年度から環境局、港湾局、下水道局の3局と民間会社とで、浄化した海水を放流する浄化実験を行ってきました。

海水浄化は、海浜公園の東側にある有明西運河から海水を引き込み、下水道局有明水再生センター内に設置した浄化プラントで行っています。浄化海水は、約1Kmの送水管を使って海浜公園の一角に設置した浄化エリアに放流して、「ふれあい水路」として楽しんでいただいています。放流期間は、海水と触れ合う機会が多くなる夏休みを概ねの期間としています。



ふれあい水路

うるおいのある水環境の再生

東京都港湾局では今年度「カキによる水質浄化実験」を開始します。お台場海浜公園の一部をカキ棚等で仕切り、海水が潮の満ち引きによりカキ棚を通過するような実験施設で、カキ等水生生物による自然浄化サイクルの再生を目指した取り組みを行います。

この取り組みには、地域にお住まいの方々にも参加していただく予定があるそうです。お楽しみに。

鳥の島清掃活動&東京ベイ・クリーンアップ大作戦

5月6日、東京港湾事務所やNPOと地域の方々で、鳥の島の清掃活動が行われ、あいにくの雨の中、71名の参加者が440kgものごみを拾ってきました。また、6月9日にはお台場海浜公園でも、東京ベイ・クリーンアップ大作戦として、ダイバーによる海底清掃や、地域の方等によるごみ拾いを実施し、442名の参加者で290kgほかのごみを集めました。



鳥の島で集めたごみです。



海底清掃を終えたダイバーの皆さん

復活お台場海苔!!

港陽小学校では平成18年度春、お台場の海で43年ぶりに海苔の養殖を復活させ昨年度もおいしい手作り海苔を味わいました。今年度も挑戦する予定です。また「海水ビオトープ」を学校内に設置し、お台場の海をより一層身近に感じながら環境学習に取り組んでいます。もちろん、東京ベイ・クリーンアップ大作戦などの清掃活動にも積極的に参加しています。



台場児童館にエコレンジャーあらわる?!

台場児童館で、1年間をとって海や森に出かけて活動する「エコレンジャー」が結成されました。まずは、魚が集まる海の草アマモの種を取りに行き、成長するまで自分達で育てて台場の海に移植します。また、台場にはアサリがどのくらいいるのか、どんな種類のアサリがいるのか調べたりします。今後の活躍を期待しています！



メンバー手作りのアマモバッチ

連載コラム あなたも里親になりませんか？

港区アドプトプログラムのお勧め



『全て 実践の中にこそ真実が有る。貴方がみたいと思う世界にあなたがなりなさい』とはガンジーの言葉。アドプトプログラムは、港区が公園や歩道等を養子にみため、区民や企業を里親とし地域の緑化や清掃で環境美化を目的とした制度、国や都でも温暖化対策として緑化に力を入れており、街中の街路樹下に住民の手で綺麗に植栽された花々も多くなってきました。左の写真は、高浜運河沿緑地に区民や企業が里親となり維持されている花壇。制度に賛同し里親に名乗り出るボランティアの輪が広がってきたようです。緑豊かな街並みは風格が有り安らぎます。地域はそこに住む子ども達の心を育てる故郷です。(港区緑化協力員港南担当)

制度の問い合わせ先 地区活動推進課土木係 電話：6400-0032